

### 8-3-3 美しい国づくり専門委員会

#### 1. 主な活動記録

##### (1) 活動目標

「美しい国づくり」の実現に向けた土木と建築等を含めた専門家としての取り組みの活動については一定の効果を得たと判断。今年度は、以下2つの方針で新たな活動を開始した。

- ・土木分野と建築分野の協働について、従来の景観やデザインの領域だけでなく、企画・調査・設計・監理全般を対象に多様な社会環境に応じた協働の在り方を探求する
- ・過年度より活動している「美しい国づくり」の実現に対して、我々建設コンサルタントが取り組んできた活動・成果について記録に残し、情報発信を行う。

合わせて委員会名称の変更も検討、次年度以降は、新たな名称で活動を行う事とした。

##### (2) 委員会の開催等

- ・委員会開催（勉強会）：3回（9月、10月、2月）
- ・JCCA/JIA 合同WGでの議論（勉強会）：2回（7月、2月）
- ・JCCA×JIA 協働シンポジウムはコロナ禍により開催見送り

##### (3) 主な内容

- a) JCCA×JIA 協働シンポジウムのテーマ、協働のあり方について議論し、登壇者などの調整と確定を行う。（開催は見送ったがテーマや登壇者の議論は継続した）
- b) JCCA/JIA 合同WSでの議論の深度化
- c) デザイン紀行の執筆準備
- d) 過年度の協働シンポジウムの記録としての小冊子の刊行準備

#### 2. 実績報告

(1) 委員会：令和2年9月～令和3年2月3回開催し、過年度の活動等を踏まえ、今年度の活動方針・意見交換や協働シンポジウムの企画準備、勉強会の企画などを行った。

(2) JCCA/JIA 合同WS：JIA 都市まち委員会のWG

に参加、(1)のシンポジウムの企画検討、協働のあり方について議論を深めた。

(3) デザイン紀行の執筆：昨年度に調査を行った「津軽ダムプロジェクト」を軸に「デザイン紀行」として取りまとめ方法を検討した。

#### 3. その他報告事項

過年度に継続して、小冊子「誰が景観を創るのか？」【02】編集中。4回～9回のシンポジウムを纏める。

#### 4. 次年度の活動について

次年度からは、「土木・建築連携まちづくり専門委員会」として活動を継続する。土木分野と建築分野の協働について、従来の景観やデザインの領域だけでなく、企画・調査・設計・監理全般を対象に多様な社会環境に応じた協働の在り方を探求していく。

##### 【検討・活動項目】

- ① 委員会を開催し、土木・建築連携による一体的なまちづくりのあり方について、委員による話題・情報提供を軸に検討する。また、土木・建築連携を実践している設計者との意見交換の実施
- ② JCCA×JIA 協働シンポジウム「誰が景観を創るのか？」の開催。今年度は、駅前空間の整備を軸に開催を協議中
- ③ JIA 都市まち委員会WSに参画し、土木・建築連携について建築設計者との意見交換・情報の共有を実施
- ④ 土木・建築連携による設計コンペの推進（JIAは、大田区主催の建築コンペなどの実施を支援した実績有）
- ⑤ デザイン紀行（土木設計者が携わった事例の視察・インタビューなどを軸に構成）の執筆による情報発信
- ⑥ JCCA×JIA 協働シンポジウムの記録としての小冊子の刊行準備。

(美しい国づくり専門委員会委員長 水谷 智充)